

令和5年度第3回 青森市障がい者自立支援協議会 議事要旨

日時 令和5年11月14日(火) 10時～12時

場所 青森市総合福祉センター2階 大集会室

出席者

(出席委員) 中村委員、長谷川委員、高橋委員、常田委員、加藤委員、西脇委員、粕谷委員、平野委員、船水委員、谷川委員、狭間委員、藤川委員、野呂委員、對馬委員、おやまだ委員、佐藤委員(16名)

(欠席委員) 田中委員、高杉委員、中野委員、阿保委員(4名)

(事務局) 福祉部次長

障がい者支援課 山口主幹、赤平主幹、渡邊主幹、竹内主査(5名)

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

(1) 基幹相談支援センター機能の充実について

《配布資料「令和5年度第3回青森市障がい者自立支援協議会資料」1頁から2頁について、事務局より報告》

4 意見交換

(1) 福祉に関するアンケート調査結果について

《配布資料「令和5年度第3回青森市障がい者自立支援協議会資料」3頁から5頁について、事務局より報告》

5 各部会での協議及び各部会からの活動報告

※ 各部会での協議後、協議内容を部会リーダー等から報告

【みんなの未来部会】

(委員) みんなの未来部会では、前回、当事者の方の意見として、自分たちのことをしてもらいたいことや、福祉教育・人材育成について若い世代から行っていく必要があるのではないという意見が出され、それを踏まえ今回は当事者の方、支援者の方、それぞれの立場から対象となる方に何を伝えるか、そのために何ができるのか話し合いを行った。

当事者の方から出された意見としては、ご自身の取組やこれまでの体験談から色々な障がいを持った方がいるということや生活のしづらさを抱えているということ、それを伝えたいので支援やサポートがあれば生活しやすいといったご意見やこういう声掛けをしてほしい、こういった部分を理解してほしいということ踏まえて分け隔てなく障がいのあるないにかかわらず当たり前前に生活していくことができる地域や世

の中になってほしいことを対象の方に伝えていきたいということでまとまった。

支援者側の意見としては、自身のそれぞれの立場で参加しているのでそれぞれの立場で伝えられること障がいのある方についてこういうふう理解してほしいといった部分や支援者としての思いをありのまま当事者の方と一緒に幸せを目指すという工程を支援しているということ伝えたいといった意見が出された。それを踏まえて何ができるのかということで、例えば、フットサル教室やそういうスポーツを通じて、障がいのある方と健常者が触れ合い話をする機会を作ってみてはどうかという意見や障がいのある方を理解していくための出前講座を開催するというつながりを持てる機会や関われる機会を地域と交流する機会を作っていければ良いのではないかとということでまとまった。

【就労支援部会】

(委員) 就労支援部会では、市内の就労支援作業所に8月29日から9月25日までの期間でアンケートを実施した。その調査内容を確認して今後の検討をしている。実際に平均工賃や通所の回数や作業内容、事業所運営の課題等を聞いたところ、切実な課題がたくさんあり報酬単価が安く、職員の確保も難しい、作業を確保して工賃を出すのだが、その作業確保にも課題があるなど色々な悩みが聞かれた。

共同受注についての質問も行ったが、実際やるとなったとき窓口がどこのか、質がどうなんだということも課題となってくると思われるため、実際事象所に直接聞く機会があればと思っている。

来年4月の障害者総合支援法の改正により、就労選択支援というサービスができることについても、そのサービスの内容を知りたいというご意見も多かったため中村会長が行っている地域生活拠点事業の研修も活用し就労支援部会の調査結果の報告と就労選択支援について勉強会と実際就労系サービス事業所が抱えている課題について情報共有をする場が今年度中に持てれば良いなという話をした。できれば1、2月位を目途に開催できれば良いのではないかとということで進める方向で話はまとまっていました。

【障がい児部会】

(委員) 令和5年10月19日に、障がい児部会の活動として、「令和5年度第2回青森圏域医療的ケア児支援体制協議の場」を開催したため、概要について報告する。

今回の協議の場については、二部構成で行われた。第一部では、あおもり親子はぐくみプラザから調査報告があった13名の医療的ケア児について、出席委員と事務局との意見交換が行われた。

また、第二部では、医療的ケア児の受入サービスの拡充を図るため障害者サービス事業所などに参加を呼びかけ「青森圏域医療的ケア児支援のためのセミナー」と題し、

青森県小児在宅支援センターの網塚先生などを講師にお招きした講演や青森県や青森市からの行政説明を行った。

引き続き、障がい児部会では、医療的ケア児への支援充実を図るため、協議の場を通じて、活発な意見交換や取組を行っていきたいと考えている。

【相談支援部会】

(委員) 10月31日に相談支援部会を開催したので報告する。検討事項は、冒頭事務局から説明のあった基幹相談支援センター機能の充実についてで、事務局より、提言を踏まえた取組、提言及びこれまでの相談支援部会からの意見を踏まえた整理の今後の方向性(案)について資料を用いて説明があった。

委員からは、「相談支援事業所等は業務が多忙で一つひとつのケースをきめ細やかに対応するのが難しい状況である。基幹相談支援センターにおける後方支援だけではなく、自立支援協議会において地域課題解消のための取組も示されていることから、自立支援協議会の内容も検討していただきたい。」「個別の困りごとが集まり、それが地域の課題となり、地域の課題を解消するための取組を担うのが基幹相談支援センターの役割だと思う。」「基幹相談支援センターを設置しよう」という市の意欲を踏まえて、地域の相談支援事業所と一丸になって基幹相談支援センターを育てていってほしいと思う。」「これまでの圏域化等の取組等のプロセスの延長線上で、地域の実情を踏まえて、青森市として基幹相談支援センター設置を考えていくことで良いと思うが、今後進めていくに当たっては、国の動きも注視しながら考えていかなければならないと考える。」「地域課題について見えない部分をどれだけ見える化して掘り下げていくかも基幹相談支援センターの重要な取組であると思う。」といった意見が出された。

意見集約としては、基幹相談支援センターの設置を進めていくことや設置や設置後の運営においては、地域との協力関係を構築して進めていく必要があるということで2つ集約している。

引き続き、部会において基幹相談支援センター機能の強化について協議を行ってまいりたい。

6 閉会